

令和6年度

児童館事業年間活動報告書

(京都市修学院第二) 児童館

	活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題	
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計
				自由来館	体験クラブ	自由来館	体験クラブ			中学生	大学生	大人			
基本活動	けん玉クラブ	11回	10	99	2	3			1			115	けん玉を通して誰かのできたを喜びあえるような関係性を育む練習をし、技を磨く	昨年度から取り組んでいる「もしかめ」を今年度も引き続き取り入れようとしたが、メンバーが初心者組が多く、なかなか昨年度のようにはいけなかった。ただ、新入部の子を中心に年2回のステージ発表や、大皿1発果せ等にチャレンジできたことはこども達の自信につながったと思う。	
	卓球クラブ	20回	63	74	35	7	2	1			1	183	卓球を通して仲間作りを行う大会に向けて練習する	今年度は日程の都合上、他館所との交流試合が2回（なかよし卓球クラブ）のみとなった。まだ、日々の練習でも内容がマンネリ化しているように感じられた。ただ、指導する側の職員の力量もあるので、次年度に向けては職員とともに指導していただけるボランティアを募り、こどもが技術的な上達を感じられるようにしていきたい。	
	3ブロックなかよし卓球大会	6月15日		2		1						3	卓球を通して他館と交流をする。	卓球クラブでの成果を発揮する場としての位置づけで開催した。他館の子ともたちと試合をし刺激を受ける子どもは多かった。交流大会は子どもたちにとって良い刺激になると思うので、引き続き近隣館所とや福協館との交流大会は実施していきたい。	
	4館合同卓球交流大会	2月8日	14	1	10			9				34			
	折り紙クラブ	34回	1	341							7	349	折り紙の作品づくりを通じ、制作の楽しさを知る。	児童の声を受け今年度から設立。1か月に2～3日間連続で行い、玄関前に毎月掲示を行った。開催日が多かったことや折り紙という身近で想像が付きやすい活動内容だったことなどから、かなり人気のクラブだった。保護者からも「今日はこんな作品を作ったんですね」と関心を寄せる声が多く好評だった。来年度も引き続き行っていきたい。	
	きりえクラブ	16回	10	30	3							43	切り絵を通して自己表現をする。	児童の声を受けて今年度から設立。参加者は少なかったが、集中して作品づくりに取り組む児童が多かった。メンバー募集の際「2年生以上で蝶々結びが出来る児童」を対象としたため、ケガをしにくい程度の手先の器用さは担保できよかった。1年生で「2年生になったらやりたい」との声も上がっていたため、来年度はメンバーが増えることが予想される。来年度はクラブ外の児童に向けて活動の様子が分かるよう広報に力を入れていきたい。	
	太鼓クラブ	25回	49	83								132	太鼓の演奏を通して仲間と音を合わせる楽しさを知る。	今年度初めて設立したクラブだったが、興味を持って参加する児童が集まり、無事実施できた。しかしまだ参加者は少なく、クラブの設立について児童への周知が足りていない部分もあった。年度末のクラブ発表会を見て興味を持った児童がいたので、その人たちを中心にさらにクラブとしてメンバーを集めていきたい。	
	修二寺子屋（囲碁・将棋）	18回	21	403	3	11	1	10	1		5	455	地域の方と共に囲碁・将棋を楽しむ	今年度から将棋も取り組みとして導入した。また、1年生は囲碁と将棋の選択式、2年生以上は希望者のみとしたことでやる気のある児童が集まり、毎回欠かさず参加する児童が多かった。特に将棋は3年生のやる気がかなり高く、自由遊びでも取り組み姿勢が多く見られた。体制を大きく変えたことで上手く進められなかった部分や変更が必要な部分なども出てきたので、反省をもとに来年度はさらにブラッシュアップした取り組みをしていきたい。	
	寺子屋囲碁大会	8月1日 3月6日		26 18		2 1		2				30	囲碁の日頃の取り組みの成果を出す	8月に1年生のみ、3月にクラブ全員での大会を行った。1年生は秋頃から希望制になるため、やる人が出ることを考慮し夏頃に大会を新たに追加した。実力差もあるため1年生にとっては自分の実力を磨く良い機会になっていたが、2年生以上から自分たちもやりだしたとの声もあつたため、来年度は検討が必要。	
	寺子屋将棋大会	8月8日 3月21日		11 13				2				13 14	将棋の日頃の取り組みの成果を出す	囲碁大会と同じく夏に1年生のみ、3月にクラブ全員での大会を行った。また、北野天満宮の大会に今年度も参加。6月に館内で予選会を開催し、13名が集まった。内3名が本戦に出場し、出場した人にもしなかった人にも、寺子屋活動の中での良い目標となっていた。来年度もぜひ続けたい。	
	予選会	6月1日	8	3	2							13			
	わくわくデー	16回	8	573	2	20				2		605	様々な遊びに触れる機会を設ける	卓球やけん玉などの使い方（遊び方）の投げかけや、マンカラ大会などに向けてのルール周知、簡単工作など、日常遊びの幅を広げるための位置づけで開催した。1年生には特に遊びの紹介などの面で好評だったが、2年生以上からは「既に知っている」「見るだけだからつまらない」との声が上がった。教える・発表する時間を設けるなど2年生以上も楽しめる・活躍できる取り組みを増やしていきたい。	
	チャレンジデー	11回	3	163	1	1						168	遊びの中での成長を実感できる機会を設ける	けん玉、フラフープ、お手玉などの検定を通じて自分の実力を確かめる機会とするため実施。参加者は毎回多く好評だったが、日常遊びの中で練習するというより、検定の日だけ練習してみようという単発的なものになってしまっていた。来年度は日常遊びの中でも練習したい、もっと出来るようになりたいと思う取り組みとなるよう工夫が必要。	
	館内マンカラ大会	8月22日 3月	1	61		5						67	普段遊んでいるマンカラの実力を競う大会	夏と春に大会を実施。今年度の1年生は日常遊びの中で自立してマンカラを行う様子がなく心配していたが、夏の大会は2年以上がやる気をもって参加する人が多かったため盛り上がりがあった。冬の大会は希望制としたが、夏にマンカラに触れたことで関心を持った1年生が多くこちらも盛り上がりがあった。	
	館内カラム大会	1月7日	20	55	1	2						78	普段遊んでいるカラムの実力を競う大会	毎年の取組ではあるが、普段の遊びの中とは違うお友達とペアになり大会を行うので、運に左右される部分もあるが、友達との輪を広げる、強い子とペアになれば勝ち上がれる可能性があるというのは、このカラム大会ならではの良さだと思うので今後も続けていきたい。	
避難訓練	7回	6	302	3	23			10			344	災害時に備え、避難の仕方や避難経路の確認を行う	もしもの時に備えての火災、地震、水害などを想定した訓練を実施。毎年だが、訓練という事もあり遊び半分で避難している子どもも数名いたが全体では良かった。どのようにすれば自分の身を守るのか、守るためにはどうしたらいいのかを子ども達に考えさせるいい練習となった。次年度もより実践に即した内容になるように検討しながら定期的に訓練を行っていきたい。また、地域の社協や消防団、自主防などとも連携をとり、協力を得ながら行っているため、次年度以降も同じように進めていきたい。		
映画会	8月8日	2	68	1	8						79	夏休みの思い出作り	著作権フリーのビデオをレンタルし上映。今年度もおやつとしてポップコーンを出し、食べながらの鑑賞を行った。夏休みにお出かけに出られない人にも特別な経験ができる機会として来年度も続けていきたい。		
染物体験	8月17日	1	3								4	伝統文化を体験する	今年度は一般も含む希望者のみで開催。参加者は少なかったが集中して体験していた。来年度は広報にも力を入れていきたい。		

	お守りづくり	8月23日		1	35	1	3					40	地域の文化に親しむ	大文字の旗を入れたお守りづくり。職員が旗をもらってきて、児童が折り紙で入れ物を作るというもの。毎年楽しみにしている子もあり、多くの参加者が集まった。地域の文化を知り、親しむという面でも続けていきたい。	
	一乗寺フェス楽器作り	2回		7	24	2	3			13	2	51	地域のお祭りへの協力	土曜日に全2回開催。大学生に来ていただき、廃材などを使って楽器を制作して音楽遊びを行った。参加した児童には好評で、後日同じものが作れる地域のお祭りにも参加してきたとの声もあった。地域の方との繋がりを深めるという点でも続けていきたい。	
	お絵描き教室	9月3日			21	1						22	実習生による体験活動	芸大からの実習生発表で開催した。絵を描くのが好き、可愛い絵を描きたいといった気持ちの強い女の子に特に好評で、その後しばらくお絵描きがブームになっていた。継続しての開催は難しいが、遊びが広がるよい機会となった。	
	じどうかんまつり	10月19日	36	33	76	7	13		78		12	255	保護者会・学童児・どんぐりサークル・民生委員や社協による企画など	今年度は子ども中心のまつりをテーマとした。3年生以上の高学年スタッフや子どもたち自身が考えたコーナーの展開など、子どもの意見を多く盛り込んだまつりとなることが出来た。初めての取り組みで戸惑う部分もあったが、高学年スタッフのほとんどが「まだスタッフをやりたい」「楽しかった」と話していた。来年度もぜひ続けたい。	
	みんなの音楽会	11月9日		6	11	1						18	地域の方との交流の機会を得る	今年度も地域の音楽祭に参加。太鼓クラブのメンバーはまつり太鼓の発表を行った。例年前半の部のみ見学していたが、今年度は希望者のみ後半の部も見学した。大人の和太鼓演奏など初めて見る演目も多く、興味を持った児童も見られた。しかし開催時間が長く、希望して見学したものの疲れてしまったという児童も見られたため、来年度は検討が必要。	
	クリスマス会	12月21日	5	48	13	14	4		10			94	職員の出し物、集団遊び等	小学校の体育館を借りて開催。各クラブの発表の場や普段なかなかできないみんな遊びの機会として子どもたちも楽しんで参加していた。最後は職員がサンタクロースになり、子どもたちにプレゼントを渡すなど、とても盛り上がった。来年度以降も内容を検討しつつ、子どもたちが楽しめる機会としていきたい。	
	大掃除	12月27日			59	1	2					62	館内の清掃を通じて普段利用している場所への感謝の気持ちを育む	今年度からおもちゃの氷拭きなど掃除をより大掛かりなものに変更。館内中の清掃を行い年を越す準備をした。	
	七輪体験	1月11日		7	14	4	1		6			32	地域の方と一緒に七輪の使い方を知り、実践する	地域の社会福祉協議会の方の指導、協力のもと七輪を使ってお餅などを煮たり、昔の生活について学ぶ機会となった。実際に火をつける所を見たりお餅が出来上がるのを見る貴重な経験となった。来年度以降も実施していきたい。今年度は他行事との兼ね合いで1月11日と遅めの開催となったが、閉園きと絡めておしるこを出したのが好評だった。来年度の日程については他行事の確認をして検討したい。	
	クラブ発表会	2月22日	19	1	54		1		64			139	クラブ活動の1年間の成果を発表する	今年度から開催。入会説明会と同日に行なったことで保護者さんも多く参加し、1年間の活動の成果を発表出来た。クラブ外の人にも活動を見てもらうよい機会となり、この行事を通してクラブに興味を持った児童も多く見られた。来年度もぜひ開催したい。	
	ドッジボール大会	3月25日		5	59	13	3					80	3Bドッジボール大会	昨年度は雨のため中止だったが、今年度は無事開催となった。1月からわくわくデーや外遊びで毎回練習していたこともあり、意欲の高い人が多かった。全勝に近い結果を出したグループもあり、「楽しかった」との声が多くあがっていた。来年度も楽しんで参加出来るようにしたい。	
	合 計		60	326	2695	107	114	3	192	4	13	27	3541		
推進活動	学習支援活動	毎月2～3回			163							2	165	大学生による学習指導の機会提供	学生が急遽来れない日があるなど、なかなか計画通りに進めることが難しかった。学生が来れないときは職員が入るなどし、子どもの顔数確保の確保は出来ていたため、次年度も急な時は同じような対応で行ってほしい。学生のボランティアが少ないため、近隣の大学に積極的に声をかけ、学生を募ってほしい。
	合 計		120	652	5553	214	228	6	384	8	26	56	7228		
子ども育成機能 合 計															

＊注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

令和6年度 児童館事業年間活動報告書 (京都市修学院第二) 児童館

		活動名	実施回数	参加人数										肉	容	成 果 と 課 題			
				乳幼児	小1～3年				小4～6年				大人				ボランティア		合計
					区立児童館	ササガキ	区立児童館	ササガキ	区立児童館	ササガキ	区立児童館	ササガキ					区立児童館	ササガキ	
子 ど も 基 本 家 庭 支 援 活 動	基 本 家 庭 支 援 活 動	ひだまりひろば	毎週(月) 19回	156									145			301	自由遊びをメインに、手遊び、体操、読み聞かせなどを行う。毎月はじめに身体測定。 乳幼児向けひろばで唯一の年齢制限なしのひろばなので、初めて来館される方にとっては「入り口」的な意味では今後も大切にしていきたい。0・1歳さん親子を中心に、参加者が多かった。毎年度にはなるが、身体測定を楽しみに来て下さる方たちの声が多いので来年度も実施していきたい。		
		ぽかぽかクラブ	毎週(金) 36回	313										317	5		635	0・1歳児対象のクラブ。 手遊び、読み聞かせ、季節にちなんだプログラムなど実施。 クラブ名を「ぽかぽかクラブ」に変更、音らきらクラブ(2・3歳児対象)と活動内容を合わせたことでさらに参加する方を誘導しやすくなった。今年度はごろんの子と歩き回れる子との関わりが大きく、活動の楽しさや「ごろんの子にぶつからないのが心配だけど2・3歳のクラブにはまだ早い」という保護者さんの不安に繋がってしまった。来年度は大まかに月齢で分け、歩ける人は音らきらクラブ、などより分かりやすい区分にしたい。	
		音らきらクラブ	毎週(水) 36回	186										155			341	2・3歳児対象のクラブ。 手遊び、リズム遊び、読み聞かせなど実施。 クラブ名を「音らきらクラブ」に変更、保護者さん周りで遊び合ってもらえるなど、年間を通して参加者が多かった。今年度は「ハナアくん体操」をクラブの最後に実施した。年度初めはうまく踊れず苦しむ姿が目立っていたが、年度が終わるころには全員上手に踊れるようになっていた。名前呼びだけでなく名刺も試みなどの声があったため後継が必要。	
		ランチしましょ	毎月 19回	19										15			34	各ひろばに、乳幼児親子対象にお昼ごはんの提供を 提供。 今年度は参加者がかなり少なかった。クラブ終了後、残って保護者同士で会話を楽しむ方が多かったため、その人たちに声をかけていくなど参加者が増えるような工夫が必要。	
		子育てサロン「そらいろ」	毎月第2(水) 12回	88										3	83	17	191	主任児童委員さんによる子育てサロン、自由遊びや、リズム音楽活動、読み聞かせなど、季節にちなんだ活動も実施。 リズムあそび、絵本、親子の工作等、毎回多彩な内容で実施していただいた。参加される親子は毎月楽しみにされている方が多かったため今後も継続して連携をとっていきたい。	
		一乗寺保育園合同事業	6月24日 1月20日	18 11										17 10			35 21	当園主体の事業として展開している。6月の『子育て相談会』は開催日を調整したことでかなり多くの参加者が集まった。1月の「節分の鬼い」も例年通り人気だったので、今後も継続していきたい。	
		子育て講座	月2～3回 11回	59										63		2	124	実施等日は検討したことで集まりがよくなった回もあったが、広報が足りず思うように集まらなかった回もあった。ハンドマッサージなど保護者さんの声を聞いて生まれた企画もあり、全体的には好評だった。次年度も広報に力を入れつつ、バラエティに富んだ内容を企画していきたい。	
		中高生世代と乳幼児の交流	6月6日 11月2回 1月25日 3月8日	28 24 4										29 24 2 2	28 25		85	年間を通して5回開催、中学校や他校とも連携しつつ乳幼児親子と中高生世代との交流の場を作ることが出来た。 また、1月・3月は参加者募集の期、館の初でチラシを配布したところ応募があった。参加者を増やすため来年度もチラシ配布は継続していきたい。	
		わくわくフェスタ	7月8日	21										18		5	44	夏休み前のお楽しみとして、乳幼児親子対象に行った、対象を乳幼児としたことで、コーナー展開もしやすく、また、館内開いて頂いている民生児童委員さんにも協力いただくなど、地域の関係機関とも連携して行うことができた。次年度も引き続き行っていきたい。	
		ST研修「ミュージック・ケア」	9月30日	11										18			29	ST研修として企画、普段クラブで行っている「きりぎり」についてなど、ミュージックケアについてより学びを深めると共に、地域の内に児童館の取り組みについて知ってもらう機会となった。また、乳幼児保護者さん向けに体験の時間もあり、リラックスして親子で交流する場ともなった。	
		リユース会	10月24日	3										13			16	一昨年度から取り組んでいる不用品の回収事業を、今年度はただ集めるだけでなくリユース会の会場として行った。事前の広報が弱かったにも関わらず、参加者が多かったことは励みの二重を知る良い機会となった。また、次年度も年に1回は行っていきたい。	
		乳幼児合同クリスマス会	12月16日	24										22			46	児童館に来られているすべての乳幼児親子を対象に、クリスマス会を実施。昨年同期申し込み者と合わせ自由参加型にし、気軽に楽しめるひだまりひろばの形態をとった。合計26組の親子が参加し、館内に入るのがやっとの状況になるほど、大盛況の会になった。	
		令和7年度学習クラブ入会説明	2回											67			67	学習在籍児童・新規入会児童の保護者に向けての説明会。 今年度も在籍児童・新規入会児童の保護者向けにそれぞれ開催。在籍児童保護者向けはクラブ発表会と同じ日に開催したため、例年より参加される保護者が多かった。新規入会児童の保護者の参加率も例年通り。来年度も引き続き開催するか、オンラインなど新しいやり方に変えていくかは要検討。	
		合 計			965	0	0	0	0	0	60	999	5	0	24	1980			
推 進 活 動	推 進 活 動	(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受理及び相談経路				件数	相談内容				件数	つないだ機関等				件数
			乳児 幼児 (0～2歳)(3～5歳) 小1～3年(6～8歳) 小4～6年(9～11歳) 小6～高1(12～15歳) 中学生 高校生		児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他					健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他					児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他				
			件数 計	0	—				0	—				0	—				
(4)子育てグループを育成	(4)子育てグループを育成	グループ名	構成人数	活動内容				育成・支援内容				成果と課題							
推 進 活 動	推 進 活 動	活動名	実施回数	活動内容										成 果 と 課 題					
		(5)子育てと健全育成に関する啓発活動																	

※注 基本活動は、概数に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動(①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動) (2)家族参加型等活動に分類して記入すること。

令和6年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市修学院第二) 児 童 館

地域福祉促進機能	基本活動	(1) 地域住民との交流を促進する活動	活動名	実施回数	主 催	参 加 人 数							連携団体	成果と課題	
						乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人			合 計
							自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
			七輪体験	1	修学院第二児童館		7	14	4	1		6	32	地域との交流ができた 児童館を知ってもらい良い機会になった	
			みんなの音楽会	1	小学校PTA		6	11	1				18		
			楽器作り	2	一乗寺ドットネット商店会		7	24	2	3		15	51		
			合 計	4		0	20	49	7	4	0	21	101		
	基本活動	(2) ボランティア活動の推進	活 動 内 容			活 動 人 数				成 果 と 課 題					
中高生						大学生	大 人	合 計							
					佛教大学ボランティアサークル「どろんこ」活動受け入れ				48		48	毎週土曜日佛教大学に午後から1人程度サークル活動としてきてくれる。昨年度に引き続き、人数がとても少なかった。子ども達は毎週とても楽しみにしている。人数が少ないためどろんこの取り合いになる場面が多く見られた。職員やアルバイトがとりなしてはいるが、参加者不足が気になる。メンバーが集まるよう来年度も定期的にどろんこ話し合いの場を設けていきたい。			
			合 計				48		48						
	基本活動	(3) 地域との連携を促進する活動	連 携 団 体 等	連 携 内 容							成 果 と 課 題				
			社会福祉協議会	会長との話し合い・各地域の行事の連帯など。毎月第1・3木曜に修二寺子屋を実施。							協議会の会長さんが交代し、これまでの活動を伝えていく1年だった。会長さんは関心を持って聞いてくださり、行事にも積極的に参加してくださった。				
			民生児童委員	毎月1回民生児童委員の方々による子育て支援のサロン。							実際に近所に住んでいる地域の方々によるものなので、参加者側も顔見知りの方がおり、身近な催しになってきている。今年度も乳幼児向けの夏祭りや秋の児童館まつりに協力して下さり、好評であった。				
			修学院第二小学校	たよりの交換							たよりの交換は継続していく。外遊び（毎週（月・金））の運動場の使用。				
			修学院保育園	たよりの交換							民間移管のため、おたより交換が主となった。				
			一乗寺保育園	たよりの交換・合同事業							たよりの交換は継続していく。また合同事業を2回実施し、広く子育て支援の輪を広げている。				
			左京保健センター	たよりの送付							子どもの情報交換をする関係作りができた。				
			保健福祉センター子どもはぐみ室	たよりの送付・支援センターの案内物の配架							子育て支援のアピールのきっかけ作りができた。				

令和6年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市修学院第二) 児 童 館

地域福祉促進推進機能	基本活動	(4)児童館を支える地域組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度		議題／取組内容		成果と課題	
			修学院第二民生児童委員協議会		会長、主任児童委員ほか		毎月2回と年間不定期で約5回		子育てサロン「そちいろ」や左京の地域 の会議に共に参加。		協議会の方々の力をお借りして、「修 二寺子屋」を実施。囲碁・将棋の取組 で、子ども達の成長につながってい る。	
			保健福祉センター子どもはぐくみ室との連帯		保健福祉センター				月1回広報を置く。 左京中部親子ふれあい広場の共催。			
	修二学区社会福祉協議会		会長ほか		「修二寺子屋」の実施。昔の生活に触れ る事業の実施。							
	地域福祉促進推進機能			会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先（団体・機関等）			成果と課題	
(6)地域調査活動		調査名		調査目的		調査対象		調査主体		調査方法		成果と課題

令和6年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市修学院第二) 児 童 館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館のしおり	1回	児童館来館者	児童館来館者に配布	当児童館の利用案内、避難経路の周知	当館独自の利用方法、避難経路について記載。
	児童館だより	毎月	児童館来館者と小学校全生徒および地域の役員の方々に配布 さらに子ども支援センター、近隣保育園・保育所にも配架	児童館来館時に配布と、小学校より全家庭に配布	毎月の活動内容の案内	イベント等を知っていただく機会であり、今後も配布は継続。毎月季節に合ったイラストを載せたり、見やすさを意識したおたよりとなるよう工夫した。
	各登録制ひろばの案内	毎月	児童館来館の乳幼児とその保護者および各ひろば登録の乳幼児親子	外掲示板・遊戯室・玄関に設置	毎月の活動内容の案内	乳幼児親子の目に留まる場所に掲載していた事で多くの参加者が集まった。また、児童館だよりなどにも掲載しているため新規の方も多かった。次年度も引き続き継続していく。
	子育てサロン「そらいろ」の案内	毎月	児童館来館の乳幼児とその保護者	児童館玄関・遊戯室に設置	毎月、開催日と活動内容を掲示	児童館にチラシを置いているがそれだけではなく児童館だよりにも掲載していたので多くの乳幼児親子が参加してくださった。今後は、児童館のホームページにも開催日や内容等を載せていきたい。
	各イベントのポスター	適宜	児童および地域住民	掲示板、遊戯室、図書室等に掲示	開催日、活動内容等のお知らせ	子どもたちは、掲示板を見たりしてイベントに参加していた。
	関係機関・保育所等からのチラシとポスター	随時	児童館利用者	玄関、館内掲示板に設置	各機関からの案内	ポスターは見やすく貼り、期間が終われば、忘れずにはずすようにした。チラシはカウンター、ラックに設置した。